

製品名: DRAK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10154**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	STK17B
別名	STK17B; DRAK2; Serine/threonine-protein kinase 17B; DAP kinase-related apoptosis-inducing protein kinase 2
遺伝子 ID	9262.0
SwissProt ID	O94768
免疫原	抗血清はヒト STK17B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

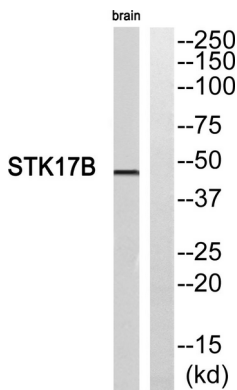
背景

触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: アポトーシスの正の調節因子として機能します。PTM: 自己リン酸化

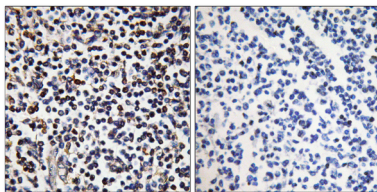
されます。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。DAP キナーゼサブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット:CHPと相互作用して、CHPをゴルジ体から核に移行させます。組織特異性:胎盤、肺、膵臓で高発現しています。心臓、脳、肝臓、骨格筋、腎臓に低濃度で存在する。触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能:アポトーシスの正の調節因子として機能する。PTM:自己リン酸化される。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。DAP キナーゼサブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット:CHPと相互作用し、CHPをゴルジ体から核へ移行させる。組織特異性:胎盤、肺、膵臓で高発現する。心臓、脳、肝臓、骨格筋、腎臓に低濃度で存在する。

研究分野

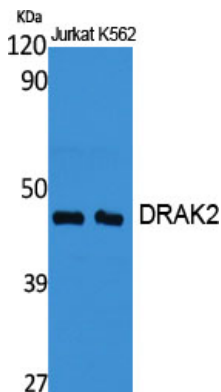
画像データ



STK17B 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは STK17B ペプチドでブロッキングされている。



STK17B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。右レーンは STK17B ペプチドでブロッキングされている。



DRAK2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。

DRAK2 ポリクローナル抗体を使用した脳細胞のウエスタンブロット分析。

